



8月の「図書館おすすめ絵本」です

8月4日（金）の夜7時～8時は栗盛記念図書館で「夏のこわ～いおはなしとしょかん」を開催します。暑い夏の夜を図書館で涼しくすごしませんか？対象は3歳～小学生、先着30名。参加希望のかたは事前のお申し込み（0186-42-2525）が必要です。

★ 新着絵本 ★

	書名	「どすこいすしずもう」 やさいばたけでおおあばれ！		分類	Eド
	著者	アン マサコ // 作	出版社	講談社	
<p>今日はいいお天気。すしりきしたちは列車に乗って、力比べをしに、野菜畑へ出かけることになりました。初めての列車の旅に大喜びのすしりきしたち。彼らを出迎えてくれたのは…？「どすこいすしずもう」シリーズ。（所蔵：栗盛／比内）</p>					
「くいしんぼうシマウマ」	<p>ずっと昔、サバンナで暮らす動物たちの体は、みんな薄ぼけたつまらない色だった。ある日、大きな音とともに現れたほら穴で、動物たちは素敵な毛皮を見つけ、思い思いに着飾る。さて、くいしんぼうのシマウマくんは…？（所蔵：栗盛）</p>				
「ふわふわ」	<p>ほくは世界じゅうのたいいていの猫が好きだけれど、この地上に生きているあらゆる種類の猫たちのなかで、年老いたおおきな雌猫がいちばん好きだ…。村上春樹が文章、安西水丸がイラストを手がけた猫絵本。新版。（所蔵：栗盛／おおとり号）</p>				
「へんしんようかい」	<p>もりのなかに、ぶきみなこやがたっていました。ここにはいると、みんなようかいにへんしんしちゃうんです。さいしょはおかさんです。「おか、おか、おか…」といいながら、こやにはいっていくと…。ことば遊びを楽しめる絵本。（所蔵：栗盛）</p>				
「はみがきなぞなぞ」	<p>なぞなぞを研究している博士のもとに、抜けたばかりの歯、にゅうしちゃんが訪ねてきました。これから大人の歯が生えてくる女の子、キラリちゃんのお口がちょっと心配なのです…。なぞなぞを通して、歯とはみがきについて考えていく、生活絵本。（所蔵：栗盛）</p>				

★ 『海』の絵本 ★

	書名	「うみのおと」		分類	Eウ
	著者	たちもと みちこ // さく え	出版社	教育画劇	
<p>こぶたちゃんは、電車に乗っておでかけ。トンネルを抜けると見たこともない景色が広がっていました…。波とおいかけっこしたり、うきわでプカプカしたり、すいか割りをしたり。はじめての海にこぶたちゃんの胸は高鳴ります。夏の海を描いたしかけえほん。（所蔵：栗盛）</p>					
「うみでなんでやねん」	<p>あおいそら、しろいくも、よせくるなみ。そして…どすこいどすこいどすこい、お！おすもうさん。すなはまにひびく、なんでやねん！読みながら、突っ込みをいれたくなる、ナンセンスな笑いが満載の絵本。（所蔵：おおとり号）</p>				
「うみべのくまちゃん」	<p>夏の日、ちゃいくまちゃんとかまちゃん達は海へでかけました！浜辺で砂遊びは楽しいな。バケツに砂を入れて、海のお水でしめらせて、かためてから、ひっくりかえそう！砂のお城が作れるかな？楽しい夏の日のお絵本。くまちゃんシリーズ9冊目。（所蔵：栗盛）</p>				
「うみのごちそうしろくま」	<p>マグロのさしみ、アジのフライ、たこやき、しらすどん…。海のごちそうが大好きなくいしんぼうのしろくまは、「うみのごちそうのなかに入ってみたらどんなかんじかな？」と、想像してみることにした。シリーズ第4弾。（所蔵：比内／田代／おおとり号）</p>				
「うみのいきものかくれんぼ」	<p>うろこがきらきら、ピンクに光っているのは、誰かな？すいすい泳ぐ、さかなでした。いろいろな形の穴のあいたページをめくると、海の生き物がつぎつぎと出てきます。楽しく遊べるしかけ絵本。厚紙絵本。（所蔵：花矢）</p>				